



2023年3月28日

各位

会社名 アグロ カネショウ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 榎引 博敬  
(コード番号 4955 東証プライム市場)  
問合せ先 上席執行役員経営企画本部長 相良 均  
(TEL. 03-5570-4711)

### 上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年12月31日時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状況となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の2022年12月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、1日平均売買代金については基準に適合していません。

当社は、1日平均売買代金に関しては、2025年12月末までに、上場維持基準に適合するため、次のとおり各種取組みを進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	1日平均売買代金	流通株式 比率
当社の状況 (基準日時点)	6,329人	71,731単位	104億円	0.16億円	53.5%
上場維持基準	800人以上	2万単位 以上	100億円以上	0.2億円以上	35%以上
計画期間				2025年12月末	

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握されている当社の株券等の分布状況等を基に、算出されたものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの基本方針

当社は、中期収益計画(2022年12月期~2025年12月期)の達成による企業価値向上、IR活動積極化および資本政策実施により、株価上昇と出来高の増加を図り、2025年12月末までに上場維持基準を上回る水準へ高めます。

### 3. 上場維持基準の適合に向けた課題と取組内容

プライム市場の上場維持基準の適合に向けた課題に対する重点事項を以下のとおり設定し、推進してまいります。

重点テーマ	取組み内容	期限																
中期収益計画の達成による企業価値向上	<p>「1日平均売買代金」の向上に係る重要ファクターである「株価向上」を実現するべく、以下の中期収益計画を着実に達成してまいります。</p> <p><b>【単位：百万円】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>売上高</th> <th>営業利益</th> <th>当期利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023年度予想</td> <td>16,123</td> <td>1,190</td> <td>791</td> </tr> <tr> <td>2024年度計画</td> <td>17,600</td> <td>1,370</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>2025年度計画</td> <td>18,400</td> <td>2,050</td> <td>1,290</td> </tr> </tbody> </table> <p>配当金・配当性向：22円/株以上かつ配当性向30%以上            ROE：6%以上（中期）            ROE：8%以上（長期）</p> <p>中期収益計画を達成するため、主に以下の施策を推進してまいります。</p> <p>① 経営理念            創業以来の経営理念である「我が信条」のもと、お客様、社員、社会、株主などステークホルダーのために、「どこまでも農家とともに」をモットーに、今後も事業拡大に取り組めます。</p> <p>② サステナビリティ経営            「持続可能な農業の推進」、「プロダクト・スチュワードシップ活動の推進」、「人材育成、ダイバーシティの推進」の3つを重要課題として取り組めます。</p> <p>③ 総合的サービス提供型企业            土壌分析・診断サービス、カネショウファーム、グローバルG.A.P.認証取得支援サービス等、農家支援サービスを質・量的に拡充するとともに、それらの有機的な結合により関連する農業生産者の組織化と効率的な新たな情報提供サービスに取り組めます。また、農薬安全使用推進活動を強化し、社内プロダクト・スチュワードシップの確立を目指します。</p> <p>④ 研究開発の充実と新たな取り組み            安全・安心な新規探索化合物の創出、新製剤・新混合剤の開発に加え、生物農薬等の研究開発や海外市場の開拓にも積極的に取り組み、ポートフォリオの拡充と販売の技術支援を行います。</p> <p>⑤ 安全安心と生産性向上            生産効率の向上と人員確保により、自社生産比率を高め、利益率向上を目指</p>		売上高	営業利益	当期利益	2023年度予想	16,123	1,190	791	2024年度計画	17,600	1,370	870	2025年度計画	18,400	2,050	1,290	2023年度 2024年度 2025年度
	売上高	営業利益	当期利益															
2023年度予想	16,123	1,190	791															
2024年度計画	17,600	1,370	870															
2025年度計画	18,400	2,050	1,290															

	<p>します。また、安全対策・品質管理・計画生産実行の徹底した運用を行います。</p>	
IR 活動積極化	<p>以下の施策を中心に IR 活動を積極的に展開することにより、出来高の増加を図ります。</p> <p>① I R イベントの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人向け I R 説明会をライブ及びWEB で開催</li> <li>・マスメディアの活用</li> </ul> <p>② WEB サイトの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人向けコンテンツの充実</li> <li>・サステナビリティ関連情報を積極的に開示</li> <li>・当社製品ユーザー向け YouTube 動画の活用 等</li> </ul>	<p>2024 年 12 月末</p> <p>2024 年 12 月末</p>
資本政策実施	<p>安定株主として当社株式を保有していただいている取引先をはじめとする株主様と協議のうえ、当社株式の売却に向けて取り組んでまいります。</p>	<p>2025 年 12 月末</p>

以上

## 上場維持基準の適合に向けた計画書 (添付資料)

アグロ カネショウ株式会社

AGRO-KANESHO

どこまでも農家とともに

## 東証プライム市場上場維持基準

2022年の1日平均売買代金は、1,652万円と、基準である2,000万円を下回った。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	1日平均 売買代金	流通株式 比率
当社の状況 (基準日時点)	6,329人	71,731 単位	104億円	0.16億円	53.5%
上場維持基準	800人 以上	2万単位 以上	100億円以 上	0.2億円 以上	35% 以上
適否	○	○	○	×	○

どこまでも農家とともに

1

## 取組みの基本方針

1. 中期収益計画達成による企業価値向上
2. IR 活動積極化
3. 資本政策実施

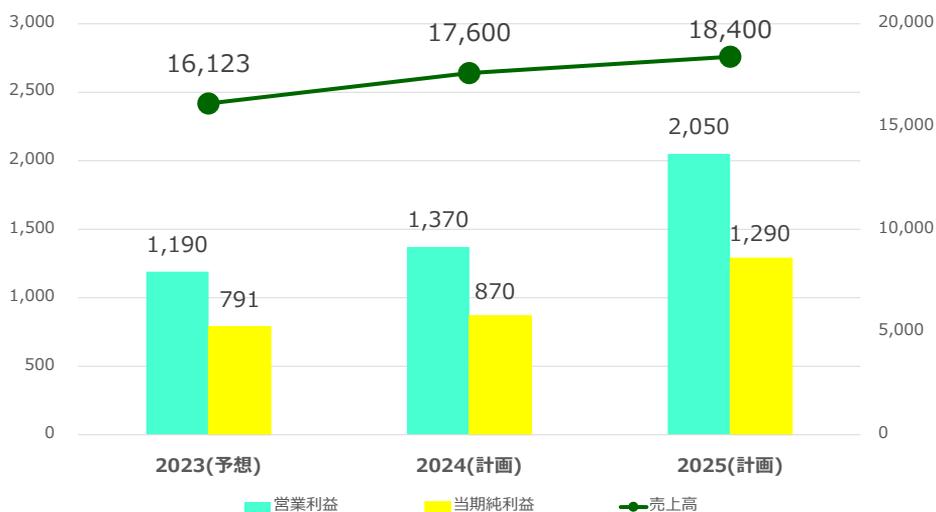


株価上昇、出来高増大を図る

## 1. 中期収益計画達成による企業価値向上

【各種利益：百万円】

【売上高：百万円】



## 中期事業計画の骨子

- (1)経営理念
- (2)サステナビリティ経営
- (3)総合的サービス提供型企业
- (4)研究開発の充実と新たな取り組み
- (5)安全安心と生産性向上

## (1)経営理念

### 経営理念「我が信条」

我々の責任は、

- 1、我々の商品とサービスを利用する全てのお客様に対するものである
- 2、我々の事業に参画している全ての社員に対するものである
- 3、我々が事業を営む地域社会、ひいては社会全体に対するものである
- 4、株主に対するものである

モットー

どこまでも農家とともに

## (2)サステナビリティ経営

### ①持続可能な農業の推進

- ・製品開発、技術情報提供による農作物の安定生産
  - ・品質確保
- ・農業の効率化に貢献し、農業の成長産業化を促進する

### ②プロダクト・スチュワードシップ活動の推進

- ・環境負荷の少ない農薬の開発
- ・農薬の適正使用の普及

### ③人材育成、ダイバーシティの推進

- ・農業生産に関わる社内外への技術教育の支援
- ・女性、外国人、中途採用者の管理職への登用



どこまでも農家とともに

6

## (3)総合的サービス提供型企业

### ①【土壌分析診断サービス】

土壌中に潜む病気や線虫などを分析するサービス

- ・多数の土壌医検定合格者を有し、分析診断結果を処方箋にして、ソリューションを提案

当社の土壌医検定合格者

1級（土壌医）	4名
2級（土づくりマスター）	43名
3級（土づくりアドバイザー）	14名

- ・「アグロカネショウ土壌医の会」設立  
土壌診断のプロを養成



どこまでも農家とともに

7

## (3)総合的サービス提供型企业

## ②カネショウファームの全国展開

課題を抱える産地の農家さんの圃場で、当社が培ってきた土壌消毒剤の知識と経験、ならびに土壌分析を用いて農家さんと一緒に課題解決を試みる取り組み

地域	目的	当社製品	
茨城	ハクサイ黄化病対策	バスアミド、ネマキック	2021年修了
高松（香川）	ショウガ根茎腐敗病対策	バスアミド	
南九州（鹿児島・宮崎）	加工用かんしょのつる割れ病対策	バスアミド	
山形	枝豆ダイズシストセンチュウ対策	D-D ネマキック	
愛知	トマト青枯病対策	バスアミド	
つがる（青森）	メロン急性萎凋症状対策	バスアミド、ネマキック	
大木須（栃木）	里山景観保全	カソロン	
中標津（北海道）	大根バーディシリウム黒点病対策	バスアミド	2022年開設
尾花沢（山形）	スイカ急性萎凋症状対策	ネマキック	2023年開設

⇒全国へ展開

どこまでも農家とともに

8

## (3)総合的サービス提供型企业

## ③グローバルG.A.P.認証取得支援サービス

## Good(適正な)Agricultural(農業の)Practices(実践)

- ・ グローバルG.A.P.認証とは、適正な農業生産工程管理を証明する国際基準の仕組み
- ・ 欧米や日本の大手小売企業等では、グローバルG.A.P.等の国際認証を取得した生産者からの仕入れを優先
- ・ 当社は、公認トレーナーの育成・増員、認証取得支援システムの構築等により、サービス体制を強化し、農家さんや農業法人の認証取得を積極的に支援

食品安全

環境保全

農場経営管理

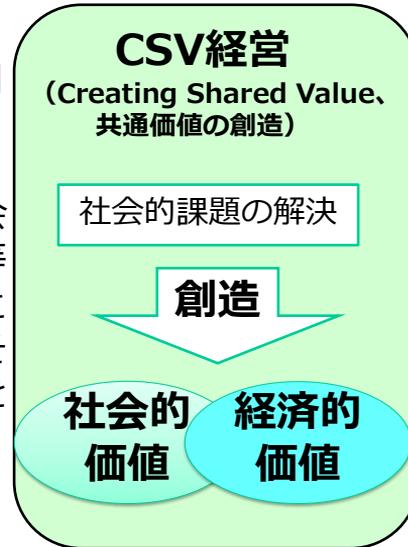
労働安全

人権保護

どこまでも農家とともに

**(3)総合的サービス提供型企业****④ CSV経営**

- CSVとは、Creating Shared Valueの略で、「共通価値の創造」と訳す
- 当社は、農家さんや農村社会の病虫害防除や生産性向上等に関する課題を解決することで、社会的価値を創造し、その結果として、経済的価値を創造している

**(4) 研究開発の充実と新たな取組み**

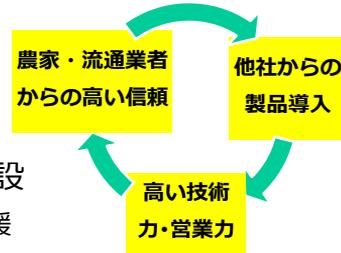
- 安全・安心な新規探索化合物の創出
- 新製剤・新混合剤の開発
- 生物農薬等（IPM製品）の研究開発
- 海外市場の開拓
- ポートフォリオの拡充と販売の技術支援

**(5) 安全安心と生産性向上**

- 自社生産比率向上
- 安全対策・品質管理・計画生産実行の徹底

## 生物農薬・資材29品目の普及販売協業が決定

(株)エス・ディー・エス バイオテックは、保有する生物農薬・資材29品目の製造・供給・開発・普及技術支援を担い、当社は、農業生産場面への普及・販売を担う。【当社取組みスパイラル】



### ● 組織の強化

- ① バイオロジカル・ソリューション室新設  
生物農薬・資材の研究開発・評価・技術支援
- ② マーケティング部に生物農薬専任担当を配置  
ポートフォリオ戦略策定、メーカー対応

## 2. IR活動積極化

### ① IRイベントの活用

#### (1) 個人投資家向けIR説明会開催

- ・ IR支援会社、株式専門紙等が企画するIR説明会開催数の増大
- ・ ライブのみならず、WEBでの説明会も検討

#### (2) マスメディアの活用

- ・ マスメディアでの露出を増やし、知名度を向上させる

## 2. IR活動積極化

### ②WEBサイトの充実

#### (1)個人投資家向けコンテンツの充実

- ・短時間でも個人投資家が当社の会社概要を理解できる資料を掲載する

(例) 3分でわかるアグロ カネショウ 等

#### (2)サステナビリティ関連情報を積極開示

- ・重要課題（マテリアリティ）、ガバナンス、取り組み方法を再度見直した上で、開示を検討する

#### (3)当社製品ユーザー向けYouTube動画活用

- ・使用方法の解説動画等をIR活動に活用する

## 3. 資本政策

配当金・配当性向	・ 22円/株以上かつ配当性向30%以上を目標とする
ROE (自己資本当期純利益率)	・ 利益の拡大、資本効率向上、積極的な株主還元により、中期的に6%以上、長期的には8%以上を目指す
流動性対策	・ 取引先をはじめとする株主様と協議の上、当社株式の売却に向け取り組む